※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校数学Ａ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	高校数学Ａ　新訂版　専用　スタディノート（実教出版） ステップノート　数学Ａ　新訂版（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

定期的に宿題を出します。継続して復習する習慣を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。
・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、２次関数、図形と計量およびデータの分析における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、２次関数、図形と計量およびデータの分析における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学の良さを認識し、数学を活用しようする姿勢や、粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。 問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	場合の数と確率	1　場合の数 2　確率	a:集合の要素と個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用い	・確認テスト ・定期考査	・確認テスト ・定期考査	・課題の提出状況 ・授業中の取り組み

※令和４年度以降入学生用

			て事象の確率や期待値を求めることができる。 b:事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c:事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	・副読本の取り組み	・パフォーマンス課題	・副読本の取り組み
2	図形の性質	1　平面図形 2　空間図形	a:三角形に関する基本的な性質について理解している。 b:図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見出し、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c:事象を数学の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	・確認テスト ・定期考査 ・副読本の取り組み	・確認テスト ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題の提出状況 ・授業中の取り組み ・副読本の取り組み
3	数学と人間の活動	1　約数と倍数 2　ユークリッドの互除法 3　１次不定方程式	a:約数、倍数を求めたり、素因数分解を利用し、最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 b:約数や倍数に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 c:人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	・確認テスト ・定期考査 ・副読本の取り組み	・確認テスト ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題の提出状況 ・授業中の取り組み ・副読本の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度